

鈴木ゆきえ

す ず き 幸 枝



何でも相談、 あなたの声を活かします！



1



3



5

TOMIHISA

富久支部ニュース

1 学校内学童クラブ設置を推進

平成11年から、子どもの安全・安心のために、学校内学童クラブを提唱。現在は富久小学校内など2校に設置。今後も更に拡大の予定。

2 ヤングミセスと懇談

児童手当の拡大や、子ども医療費の無料化を喜ぶヤングミセスの方たちと、更なる子育て支援を語り合う。

3 医大通りにカーブミラー設置とカラー舗装

交通量が多く、高齢者や子ども達もよく通る医大通りにカーブミラーやカラー舗装で、安全を確保。

4 ヤングミーティング

公明党は番号ポータビリティ制度や、ジョブカフェなど、ヤング層の声も実現！これからも皆さんの声を政策に活かします。

5 新宿7丁目の区道をカラー舗装

車がスピード出したまま通過するカーブ部分をカラー舗装。ゆっくり走行する車に安心の笑みがこぼれる。



2



4

プロフィール

■ 1954年12月27日、新宿区新宿生まれ ■ 四谷第四小、共立女子学園を経て同短大卒 ■ 区議会福祉健康委員、区議2期 ■ 夫と1男2女の5人家族 ■ 信条：一生懸命 ■ 趣味：読書、音楽鑑賞、映画鑑賞



公明党に期待します

新宿区長 中山弘子

今年は、地方自治制度が発足して60年、そして新宿区が成立して60周年の記念すべき年です。こうした折、地方分権改革推進法が成立し、地方分権改革は新たな段階を迎えました。

しかしながら、改革の行方は混沌としています。国と自治体の役割分担はどうあるべきかの議論がないままに、国の財政再建が重

視された改革が進められるならば、真の自治の確立はおぼつかないものになります。

高齢者や障害者の福祉、子育てや教育、まちづくりなど人々の暮らしを支える公共サービスを創り出すのは自治体の現場です。公明党の皆さん方は、この自治の現場から政策を生み出し実現させてきた実績と能力があります。

今、分権改革は大きな岐路に立っています。自治体は国を構成する一地方の道を歩むのか、それとも人々の暮らしに立脚した真の自治を実現する要となるのか、自治体の行く末を決めるうえで、私は、公明党の皆さん方の支援に強く期待しています。

お問い合わせ・ご相談はお気軽に

鈴木ゆきえ

電話・FAX

03-3354-2730

新宿区議会公明党 控室
電話03-5273-3552